

文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」



「受講者募集」

次世代観光 マネジメントリーダー 育成プログラム

九州の地域特性を活かしながら観光マネジメントに取り組む人材に必要な知識やスキルを理論と実践から多角的に、かつ、専門的に学び得る教育を行い、地域の観光産業で活躍できる人材を養成・育成することを目的としています。

Future Tourism of Kyushu

開催場所

九州産業大学本館3階

受講料

無料

ただし、現地学習に伴う費用
(バス代・保険料・宿泊費等)のみ徴収

受講者定員

正規受講：30人
部分受講：800人

開催期間

9月～11月

受講対象者

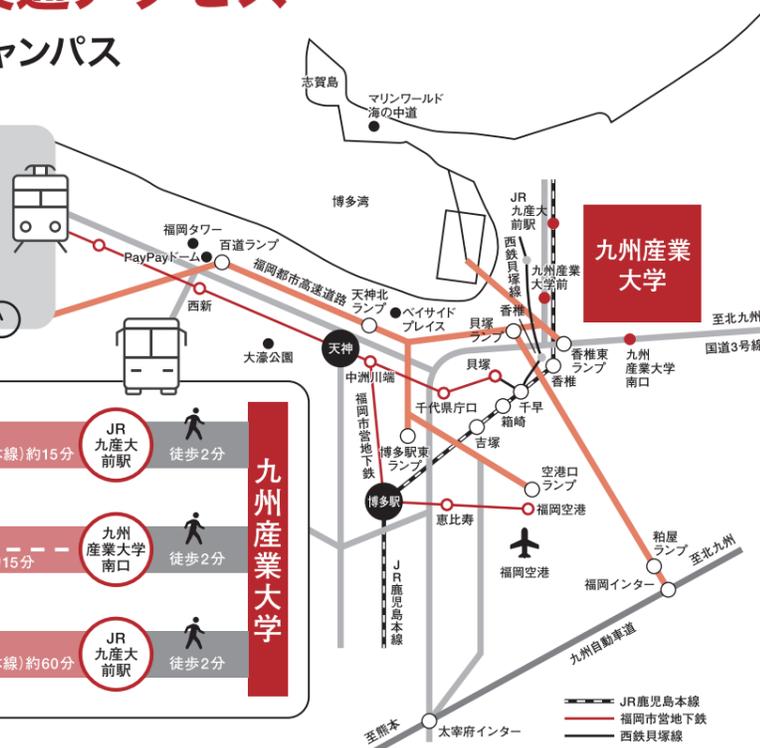
自治体の観光課、観光協会／DMO(観光地域づくり法人)、
商工会議所、宿泊業、旅行業、観光関連産業・業界以外の業種
からの観光関連業界への転職希望者 他

※商業高等学校等で教科に加えられた「観光ビジネス」教育および
「探究学習」に携わる高等学校の先生方のため、授業に役立つ内容の科目も複数開講しますので、
ぜひ、受講してください。

講習会場への交通アクセス

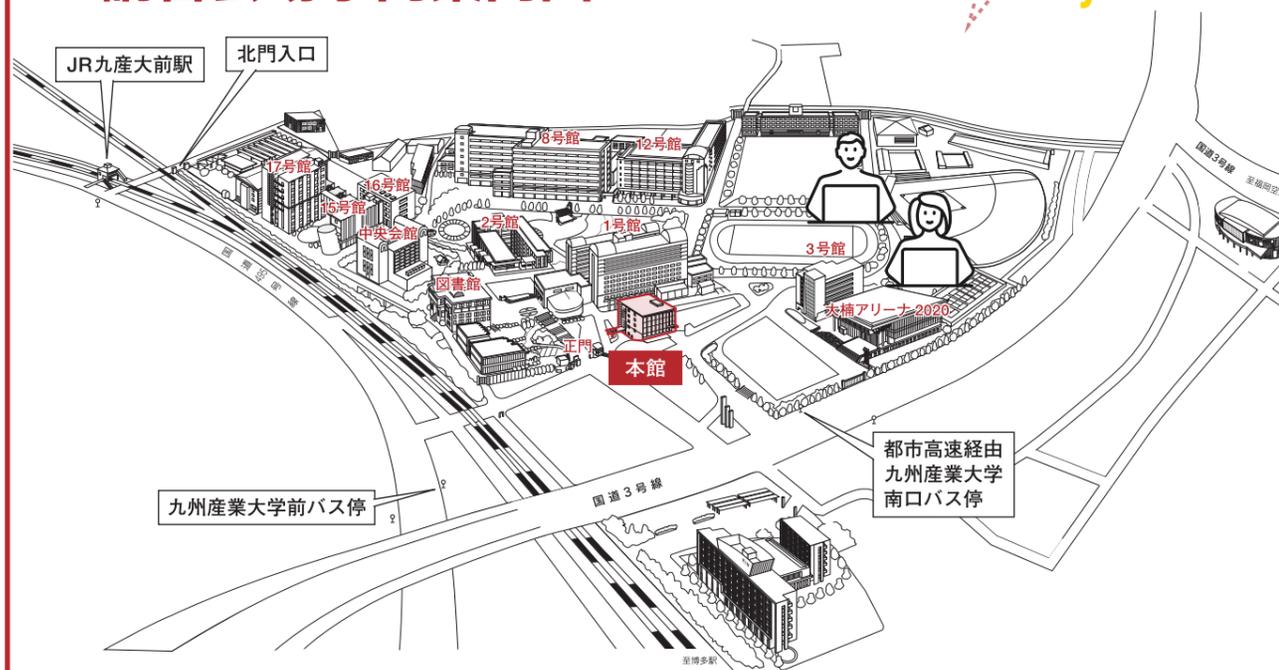
会場：九州産業大学キャンパス

- ・原則として公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- ・自転車等でお越しの方は、駐輪場にとめてください



博多方面	JRで	JR 博多駅	普通電車(JR鹿児島本線)約15分	JR 九産大前駅	徒歩2分	九州産業大学
博多方面	バスで	天神日銀前	都市高速経由約15分	九州産業大学南口	徒歩2分	
北九州方面	JRで	JR 小倉駅	普通電車(JR鹿児島本線)約60分	JR 九産大前駅	徒歩2分	

講習会場学内案内図 Future Tourism of Kyushu



※本プログラムは、文部科学省「令和4年度成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択されています。



交通アクセス <http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/map/access.html>
学内マップ <http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/map/campus.html>

問い合わせ先

九州産業大学 大学改革推進本部

リカレント教育担当 TEL092-673-5178

✉ Mail ksu-tourism@ml.kyusan-u.ac.jp

01 | 開設科目等一覧

九州の

「次世代観光マネジメントリーダー育成プログラム」授業概要



	区分	授業実施日	授業科目名	概要等	授業担当者
観光の可能性	01 必修	9月2日 [±] 10:00 } 11:40	観光×地域創生	わが国は人口減少、少子高齢化、経済の長期低迷のなか、20世紀を支えた工業立国、貿易立国の基盤が揺らぎ、国際競争力が低下している。一方で、21世紀初頭からの「観光立国」への取り組みが次第に成果を見せ始めてきた。大ダメージを受けた新型コロナの影響から立ち直りつつある今、地域を活性化する手段としての観光の重要性を改めて学ぶ。	田代 雅彦 九州産業大学 地域共創学部 観光学科 教授
	02 必修	9月2日 [±] 13:00 } 14:40	着地型観光の可能性 —地域と観光のあり方	国内観光の需要は、戦後の高度経済成長、バブル経済とその破綻、長期デフレ経済といった時代の変遷とともに変化してきた。こういった観光需要の背景を理解し、消費者の価値観の多様化が進む中、着地型観光といわれる、地域の物語性を価値化する観光商品のあり方を考え、グループワークでは主体性を持った観光コンテンツづくりを学ぶ。	田中 徹 株式会社 ピーワゴン代表
	03 必修	9月3日 ^日 10:00 } 11:40	DMOの役割と機能	観光庁が進めるDMO構築事業の本質は何か。地域あるいは地域が連携する観光地域づくりの現場で、DMOが担う役割と機能を具体的に捉える。地域合意など前提条件整備に陥りやすいDMO構築プロセスを、やるべきことを見える化するアクションから考える。	田中 徹 株式会社 ピーワゴン代表
観光×DX(観光マーケティング)	04 必修	9月10日 ^日 10:00 } 11:40 } 13:00 } 14:40	マーケティング基礎	東販のナショナルブランドのほか、全国の地方の中小企業を対象にマーケティング支援を行ってきた。九州産業大学商学部で教鞭をとるほか、実務家・官公庁職員・海外の観光官僚などを対象にマーケティング研修を行っている。研究テーマは、地域ブランド、ふるさと納税、地域産品振興、観光マーケティングなど。本プログラムでは、競争優位性・リピート促進・ブランド形成などの視点から、実践に役立つマーケティングの基本的なフレームワークのいくつかを学ぶこととする。受講者の属性を踏まえながら、かんたん演習の実施も検討する。	岩永 洋平 九州産業大学 商学部経営・流通学科 教授
	05 必修	9月10日 ^日 15:00 } 16:40	観光マーケティング	地域の観光商品はなぜ売れないのか。「売れる商品」がなければ、地域観光による仕事づくりや観光の産業化は進まない。グループワークでは、観光現場でマーケティングの具体的な実践による「売れる商品づくり」について考える。	田中 徹 株式会社 ピーワゴン代表
	06 必修	9月16日 [±] 10:00 } 12:30	観光データ分析	長年、シンクタンクで観光調査に携わっていた経験があり、本学で非常勤講師として観光調査法の授業を担当している。本授業では、実務において観光調査をするために必要な基礎的な手法と観光客数、観光消費額推計に必要な考え方について、パソコンを使って実践的に学ぶ。	島田 龍 株式会社ピースポーク 公共政策部門長

	区分	授業実施日	授業科目名	概要等	授業担当者
観光×DX(観光マーケティング)	07 必修	9月16日 [±] 13:30 } 16:00	観光 データリテラシー	(公財)九州経済調査協会「オープンデータ」や「ビッグデータ」を収集・解析する業務に携わっている。観光ビジネスの世界においても「データ」や「エビデンス」が重要であるが、観光データの種類を理解し、読み解く力を養う。本授業では、対面での授業において、観光データの収集・分析・可視化に必要な社会調査や市場調査についての実務知識・能力を養う。	渡辺 隼矢 公益財団法人 九州経済調査協会事業開発部 研究主査
	08 必修	9月30日 [±] 13:00 } 14:40	京都市観光協会の デジタル マーケティング	観光分野において収集可能なデータや、想定されるデータ活用の種類を整理したうえで、京都市において実践しているデータ活用の事例(宿泊施設と連携した統計、旅行商品予約履歴を活用したメルマガ配信など)を紹介しデジタルマーケティングだからこそできることへの理解を深める。	堀江 卓矢 公益社団法人 京都市観光協会マーケティング課 DMO企画・マーケティング専門官
	09 必修	9月30日 [±] 15:00 } 16:40	デジタル マーケティング演習	講師が用意した観光についてのWEBアンケートに全員で回答し、その結果をグループに分かれて集計し得られた分析結果を踏まえた誘客策を発表し合うことで、デジタルマーケティングの一連の流れを体験する。	堀江 卓矢 公益社団法人 京都市観光協会マーケティング課 DMO企画・マーケティング専門官
	10 必修	10月1日 ^日 10:00 } 11:40	九州観光機構の 観光DX	本授業では、(一社)九州観光機構が取り組んでいる観光DXについて学ぶ。地域事業者のデジタルビジネスの支援や九州ファンの獲得、リピーター化に向けて観光客一人一人に寄り添える仕組みづくりの実現を目指しているが、観光DXの推進によって得られるメリットは何か、企業又は地域のかかわり方、「魅力ある観光地域づくり」や「誘客推進」等、観光DXの活用方法について、対面の双方向授業で学ぶ。	里浦 徹 一般社団法人 九州観光機構事業本部長
	11 必修	10月1日 ^日 13:00 } 14:40	デジタル 観光プロモーション	スマートフォンやタブレット端末などの登場やIoTの台頭など、急速にデジタル化が進んでいる。観光市場でも人々のライフスタイルやニーズの変化にあわせ、電子デバイスやインターネットを活用したプロモーション、「デジタルマーケティング」が積極的に実施されている。(一社)九州観光機構でもSNSやWEB等を活用した様々なデジタルプロモーションを通じて、国内外へ九州を発信している。本授業では、それらの取り組み方、成果と課題について、ケーススタディ形式で学ぶ。	瀧崎 隆 一般社団法人 九州観光機構 事業副本部長兼企画部 地域連携室長
	12 必修	10月7日 [±] 13:00 } 14:40	観光DXと インバウンド	本講座では、訪日インバウンド観光客を対象とした、地域の観光コンテンツ(宿、飲食店、体験アクティビティなど)の販売については、DXの活用が必須である。本講座では、DXを活用した基本的な観光コンテンツのプロモーションや販売手法について、すぐに取り組みができる基本的な手法を学ぶ。後述の体験コンテンツ開発の講座と合わせて受講することで、商品開発～販売といった一連の観光マーケティング活動について、すぐに自ら実践できるノウハウを習得する。	粉 大輔 株式会社 VISIT九州代表取締役

Future Tourism of Kyushu



	区分	授業実施日	授業科目名	概要等	授業担当者
高付加価値とブランディング	13 必修	10月7日 ^土 10:00 } 11:40	高付加価値型 体験コンテンツ開発	2004年～訪日インバウンド観光客を九州の温泉旅館に集客するITプラットフォームや、地域の隠れた特産品をネットで販売する「インターネット版道の駅」の開発・運営などに携わり、九州各地域の魅力の発掘・発信に取り組んでいる。 近年は、九州各地域にて、その地域ならではの資源(場所×食×伝統文化×人)を掛け合わせた、高付加価値な体験コンテンツの開発・プロデュースを数多く手掛け、その海外販売にも取り組んでいる。 本講座では、地域を代表する高付加価値な観光コンテンツの開発手法について、実際の開発事例を交えながら学ぶ。	粉 大輔 株式会社 VISIT九州代表取締役
	14 必修	10月8日 ^日 10:00 } 11:40 13:00 } 14:40	地域資源の活用	(公財)九州経済調査協会では、地域の景気・経済動向を的確に捉えるための経済指標の開発に携わっている。本授業では、オンラインで2023年版九州経済白書「九州地域の観光復興に向けて—スマホデータにみる観光行動の変容と観光地の対応」の中の「事例集」を中心に解説を行う。具体的には、先進的な地域の取り組み事例をもとに、観光の動向や課題を分析しながら、地域資源活用のヒントとアフターコロナの観光による持続的な地域づくりの考え方や進め方について学ぶ。	松嶋 慶祐 公益財団法人 九州経済調査協会 調査研究部 次長
	15 必修	10月14日 ^土 10:00 } 11:40 13:00 } 14:40	観光×デザイン (地域ブランディング)	UNAラボラトリーズでは、「地域文化を体験を通じて伝えること」を目的に、九州各地のクラフトツアーや、海外の大学や研究機関に向けた視察ツアーを開催している。本授業では、九州の地域文化の可能性や、文化ツーリズムやクラフトツーリズムと言われるものの課題について、リアルな事例を交えながら伝えていきたい。	田村 あや 株式会社 UNAラボラトリーズ 共同代表・TRAVEL UNA(ユーナ)編集長
	16 必修	10月15日 ^日 13:00 } 14:40 15:00 } 16:40	地域ブランド論	九州の様々な地域のブランディング、プロデュースを行った経験を持っている。本授業では、オンラインにおいて商品の「売り」や「課題」を多角的に分析し、「どんな場所で、どんな人に、どんな風に購入していただきたい商品なのか」「それらの商品が購入者のもとへ上手に届くには、どのようなことが必要か」など、地域ブランドと流通販売において重要な事柄について、実例から学ぶ。	江副 直樹 ブンボ株式会社代表
インバウンドビジネスとMICE	17 必修	10月15日 ^日 10:00 } 11:40	インバウンド観光 促進の鍵	国内旅行のマーケットは、人口の増加や経済の成熟化とともに拡大してきた。現在、人口は減少傾向にあるが、インバウンド観光の拡大は、観光産業だけでなく、経済社会を活性化するための重要な取り組みとなっている。潜在的な外国人旅行者の需要は大きく、今後外国人旅行者数とともに旅行消費額を増加させる必要がある。この講義では、インバウンド観光促進の鍵は何か、またインバウンドビジネスを展開する上で必要な基礎的な知識と技能について学ぶ。	千 相哲 九州産業大学 副学長 地域共創学部 観光学科 教授
	18 必修	10月21日 ^土 10:00 } 11:40 13:00 } 14:40	インバウンド ビジネス	福岡発世界の旅情報「Fly from Fukuoka」を運営し、日本最大のインバウンド情報サイト「やまとごころ」九州支部マネージャーとして活動している。本授業では、インバウンドビジネスの可能性と多様性、マーケティングの観点からのアプローチについて、オンラインで多くの事例を交えて教授する。また、対面では、宿泊業、旅行業、観光地等の分野において、インバウンドビジネスの取り組み方、展開の仕方に関して実践的に学ぶ。	帆足 千恵 株式会社 インアウト・ツーリズム 研究所 代表

	区分	授業実施日	授業科目名	概要等	授業担当者	
インバウンドビジネスとMICE	19 必修	10月22日 ^日 10:00 } 11:40	MICE	MICEによる経済効果は、一般観光による経済効果よりも大きいといわれている。また、その地域を知らない外国人訪問客を、MICEを通じて呼び込むこともできる。このような特徴から、インバウンド戦略の一つとしてMICEに注目する企業や自治体が増加している。福岡市は日本のMICE誘致競争をけん引できる実力のある都市として、2013年に観光庁の指定する『グローバルMICE戦略都市』に選ばれている。本授業では、福岡市の取り組みを事例に、国際MICE市場の動向や誘致・セールス活動の手法及び実際の国際会議などの流れを学ぶ。	菊根 剛 公益財団法人 福岡観光 コンベンションビューロー	
	観光経営・組織力	20 必修	10月22日 ^日 13:00 } 14:40 15:00 } 16:40	財務・経営分析	観光産業における高付加価値化の実現は大きな課題であるが、高付加価値化に向けた経営の実現のためには、会計、持続可能性、労働環境の改善、IT導入の視点が重要である。本授業では、経営状況を客観的に見ることが出来る決算書や財務諸表などを分析して経営に役立てる手法について、オンラインで多くの事例を通して学ぶ。	林 昭信 株式会社社邦銀行 営業本部 ソリューション・DXグループ 部長
		21 必修	10月28日 ^土 13:00 } 14:40 15:00 } 16:40	ファシリテーション スキル	日本ファシリテーション協会監事やローカルアントレプレナーズ代表理事など歴任した経験を活かし、ファシリテーションのスキルを教授する。本授業では、スムーズで生産的な会議を実施することができるファシリテーション力について講義し、また、現地学習での会議においては、実際にファシリテーターとして会議参加者の意見を引き出し、まとめるスキルを実演する。	田坂 逸朗 一般社団法人 地域価値共創センター 理事・センター長
	22 必修	10月29日 ^日 10:00 } 11:40 11月11日 ^土 10:00 } 11:40 11月18日 ^土 10:00 } 11:40	事業計画書策定 (関心分野における経営改善、サービスの品質管理や開発、経営戦略、または事業計画を策定する)	地域計画・再生計画、中心市街地活性化計画、施設計画・運営計画などの総合プランニング、コンサルタントの経験を有しており、「事業計画書策定」の教授に携わる。本プログラムの受講者は、学んだ理論、応用の知識を活かして課題解決策または新規事業についての計画書を作成することになるが、本授業は、オンラインと対面を併用するが、オンラインでは、目標設定、事業内容、実行計画などの計画書の作成方法について講義し、対面では、受講者の発表に対する講評と全体のディスカッションを通して話題や展開を促して話し合う力を養う指導を行う。	山辺 眞一 株式会社よかネット 代表取締役社長	
現地学習	23 選択必修	11月25日 ^土 } 11月26日 ^日 (1泊2日)	現地学習 (大分県佐伯市) 「ななつ星に採用された佐伯産品の高付加価値化の源泉を探る」	サービス品質とブランド力で、九州が世界に誇るクルーズトレイン「ななつ星in九州」。その「ななつ星」で数多く採用された地域産品・食材を輩出している大分県佐伯市。その高付加価値化の源泉を、現地事業者を訪ねて探り、マーケティングの視点で分析する。2日目朝、「ななつ星料理長」への短時間ヒアリングを設定する。	永松 毅文 九州産業大学 地域共創学部 観光学科 教授	
	23 選択必修	11月19日 ^日 (日帰り)	現地学習 (熊本県阿蘇郡 黒川温泉) 「持続可能な観光地づくり推進組織」	コロナ感染拡大は、旅行者の意識や行動に大きな影響を与えた。受け入れ地域では、持続可能でレジリエントな観光への革新が不可欠となっている。本現地学習では、「黒川温泉2030ビジョン」という2030年に向けた目標を表し、地域、住民、事業者が抱く観光地づくりへの思いや、ビジョン実現に向けた具体的な策などについて関係者から講話をいただく。その後、ファシリテーションの技法を使って「観光地づくりにおける組織のエンゲージメント向上に必要な10の項目」というテーマでグループワークを行い、組織づくりの重要性と手法などについて実践的に学ぶ。	千 相哲 九州産業大学 副学長 地域共創学部観光学科 教授 田坂 逸朗 一般社団法人 地域価値共創センター 理事・センター長	

02 | 受講区分・受講方法

● 正規受講者: 23科目36コマを全て受講する方

正規受講者の方は、原則「対面」での受講を基本とします。

なお、業務等の都合により、受講日当日、大学に来ることが難しい方は「リアルタイム配信」又は「オンデマンド配信」での受講も可能です。

また、受講後、復習等で活用いただくため「オンデマンド配信」(動画配信から3週間公開)を行います。

● 部分受講者: 全ての開講科目の中から一部を選択して受講する方

(※事業計画策定及び※現地学習は受講できません)

部分受講者の方は、「リアルタイム配信」又は「オンデマンド配信」(動画配信から3週間公開)による受講となります。申込受付締切後、URL等をお知らせします。



07 | 証明書について

- (1) 正規受講者には、23科目36コマ全てのプログラムを修了した方に対し、履修証明書を発行いたします。
- (2) 部分受講者には発行いたしません。



08 | 受講上特別な配慮を必要とする方の受講について

身体に障害を有する等により、受講上特別な配慮を希望する方は、受講申込前に個別にご相談ください。

本学では、身体に障害を有する方にもご利用いただくために、キャンパス内の施設・設備の改善に努めておりますが、障害の状況により対応できないことがあります。申込の前に、必ず本学まで電話にてお問い合わせください。

なお本学では、次の事項については対応できませんので、あらかじめご了承ください。

- ① 講座受講の際におけるノートテイク・手話通訳、移動補助者等の確保
- ② テキスト等、配付教材の点字化、拡大化、録音教材化、データ等への加工
- ③ 点字化、拡大化、録音教材化等に加工したレポートの提出

09 | 個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の流出や不正使用を防ぎ適切に利用していくため、

「九州産業大学個人情報保護方針(プライバシー・ポリシー)」に基づき、適正な利用、管理、保護に努めてまいります。ご提出いただいた個人情報は、次世代観光マネジメントリーダー育成プログラムに関連する業務のみに使用します。



10 | その他

(1) 傷害保険について

次世代観光マネジメントリーダー育成プログラムの主催者として、プログラムのための保険には加入しませんので、傷害保険等の加入は、受講者各人の判断により対応願います。(現地実習は別途加入の手続きをいたします)

(2) 問い合わせ窓口について

九州産業大学 リカレント教育担当(大学改革推進本部)

受付時間: 月～金曜日 9:00～17:30(昼休み11:20～12:20を除く)

※ただし2023年8月2日(水)～8月15日(火)の間は夏期休業期間のため事務取扱(電話及びメール対応)が出来ませんので、ご了承ください。

〒813-8503福岡市東区松香台2-3-1

TEL : 092-673-5178/5913

FAX : 092-673-5165

E-mail : ksu-tourism@ml.kyusan-u.ac.jp

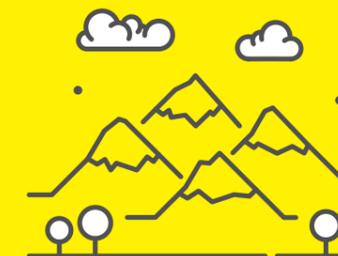


(3) 駐車場について

受講票送付時に、ご案内いたします。

(4) 講習会場への交通アクセス・学内マップは、

本学ホームページをご参照ください。



04 | 受講料 → 無料

ただし、正規受講者のみ現地学習に伴う費用(バス代・保険料・宿泊費等)の実費をご負担いただきます。受講申込み後に個別にご連絡致します。

05 | 受講に関する注意事項



- (1) 講習会場のある建物(本館)は、9時15分に開錠します。9時50分までに指定された会場に入室してください。
- (2) 講習教室は、受講票と一緒にご案内します。
- (3) 学食及び売店等は利用できませんので、必要な方はご持参ください。
- (4) その他、学習に必要なものをご持参ください。

06 | アンケート (1) 受講者アンケート

講習にあたりアンケートへのご協力をお願いします。講習終了時に配付しますので、ご記入ください。



(2) 団体・企業アンケート

受講前・受講後における受講者の行動変容を測るために、受講者の所属先の方へアンケートのご協力をお願いする予定です。

Future Tourism of Kyushu